

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	北海道西濃	神奈川西濃	三河西濃	関東運輸	ココネット(ラストワンマイル)
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90%未達店所が1店所(札幌西支店) <p>【EDI課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様が現行の運用内容に変更が生じることや付帯作業が増えることに対して難色を示される 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口大手顧客デンカ様の出荷業務が非EDIのため送り状入力作業に時間を費やしている(30分~50分) 	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの荷主様に対し、KMⅡの導入を推進している <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KMⅡを導入いただいた荷主様の中で旧来のシステムと併用されているところもあり、余計な時間がかかっているところがある 	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内承認システムのリニューアル e-value(※)バージョンアップ ・(※)osk社の外部システムソフトで、社内のワークフロー、ドキュメント管理等をシステムにて運用 ・新規営業案件のEDI化 	<p>【IT推進の取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①全国各地に点在する現場管理者のコミュニケーションを円滑にするため、勤怠、コミュニケーション、ファイル共有、配送管理、契約などの業務システムは全てクラウドSaaS(※)を導入済(ココネット、GENie、インテンツ) <ul style="list-style-type: none"> →課題:会社ごとに導入しているシステムが違うため会社間の情報連携が困難 (※)Software as a Serviceの略で、インターネット経由したソフトウェアサービス ②ラストワンマイルグループ内での顧客情報の統合(Sansanの利活用) <ul style="list-style-type: none"> →課題:各社アプローチ状況の入力による営業進捗管理ツールとしての利用推進 ③紙で行われているプロセスを全て電子化する為 MoneyForwardを導入(地区宅便) <ul style="list-style-type: none"> →課題:社内稟議・申請~請求書、社員の給与明細に至るまで、すべてにおいて紙で運用しており、決裁に長時間要する他、書類の手渡し、郵送発送等紙による事務作業の負担が大きい
新たな取組み (課題解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・納品明細として現行原票記事欄に記載された内容がKMⅡの記事欄でも必要とされたが文字数制限と記載行数に限りがあった為、新たな専用納品書のフォーマットを当社とお客様で打ち合わせし作成することで課題を解決出来た 	<ul style="list-style-type: none"> ・小口顧客大手のデンカ様の出荷に関し発伝票を輸送情報交換システムへ変更 <p>【期待効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDの送り状入力作業が不要 ・一覧表のデータ化によりペーパーレス 	<ul style="list-style-type: none"> ・KMⅡ活用による省力化をアピールし、積極的な営業を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・e-valueバージョンアップに向け、サーバの導入、上期中の切替を行うための作業を実施 ・川口市ワクチンセンター業務へのWMS新規導入 ・BAKE様関西案件へのWMS導入(8月稼働に向けた新規開発対応中) 	<ol style="list-style-type: none"> ①上述の業務システムの統合を開始。2024年3月までに完了予定 ②各社推進担当者によるアプローチ状況入力ルールの周知・徹底を実施 ③2023年8月より、業務の電子化スタート。人事情報の電子化、勤怠システムの切替、給与システム及び経費精算、各種ワークフローの電子化、年末調整の電子化、会計システム、契約の電子化の順番で実施
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化比率90.2% ・上記取組みにより月間1,500~2,000枚(約1ポイント上昇) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年下期より導入予定 ※イントラマート稟申中 	<ul style="list-style-type: none"> ・KMⅡの導入推進により、EDI化率が92%まで上がってきている。又、現場においてSDの集荷作業が早くなり時間短縮にもつながった 	<ul style="list-style-type: none"> ・e-value継続により社内決裁EDI率は100%継続 	<ol style="list-style-type: none"> ①3社のシステム統合によりコミュニケーションスピードの向上、コミュニケーションコスト削減による業務効率化 ②アカウントのない顧客に対してのグループ内連携営業 ③申請、決裁時間を3日~7日⇒即日~3日以内へ短縮、社内の紙60%を削減(最終75%目標)
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・導入に難色を示すお客様に対し導入したことにより結果的にメリットを感じていただいたお客様の事例をアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送情報交換の導入はお客様のご協力が必要となるため下記2点を導入時にお客様へポイントとしてご説明した結果、導入へ進むことができた ①2024年問題で業務効率化が必須 ②お客様がペーパーレス化しグリーンにつながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・EDI化推進により、KMⅡ 拡販が営業ツールとなることや、お客様へのサービス向上につながっている ・まだまだPCの活用が不十分であるが、IT推進をすることにより作業効率を向上させるツールとなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・WMSを活用することによって、既存顧客物流サポートや新規顧客や市町村のような全面委託を求めているお客様に対して最適なサービスを提供 	<ol style="list-style-type: none"> ①タイムリーに機能追加やアップデートが行われるSaaSを積極的、かつ迅速に導入 ②部署ごとの登録名刺枚数・閲覧履歴をチェックしながら直接声がけすることで、顧客情報を電子化 ③電子化に向け社内オペレーション業務が大幅に変更となるため、非効率な業務が生れないよう実務と照らし合わせ進めている。ITスキルが低い社員が取り残されないようサポートを実施していくことが重要